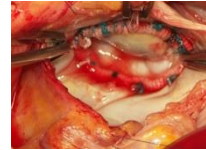


弁の強い変性



複雑な修復後

人工心肺開始→心停止→心臓の中の弁を観察

複雑な僧帽弁形成→弁の良好な接合確認

弁を切除→ 僧帽弁人工弁置換

遠隔期逆流再発せず

遠隔期逆流再発

→再手術（僧帽弁人工弁置換）

自己心膜製ステントレス僧帽弁置換術（SMVR）

臨床現場から新しいステントレス僧帽弁が提案され、その基礎的検討が発案者加瀬川均医師と早稲田大学梅津光生教授によって10年の歳月をかけて行われた。

自己心膜の採取→自己心膜弁(Normoの作成)→弁の良好な接合確認→人工心肺開始→心停止→ 弁切除→ SMVR

逆流再発しにくい



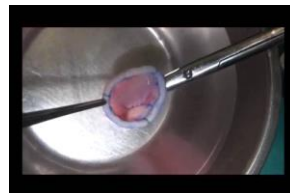
1. 採取された自己心膜



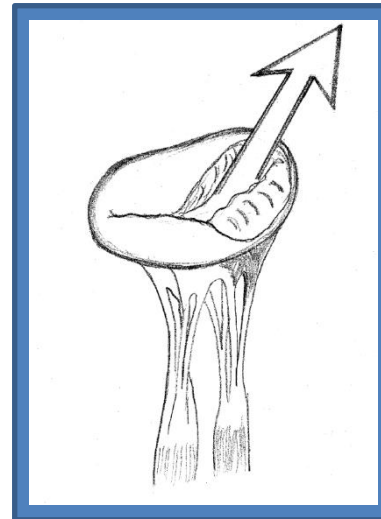
3. 自己心膜を弁輪形成用リングに縫着



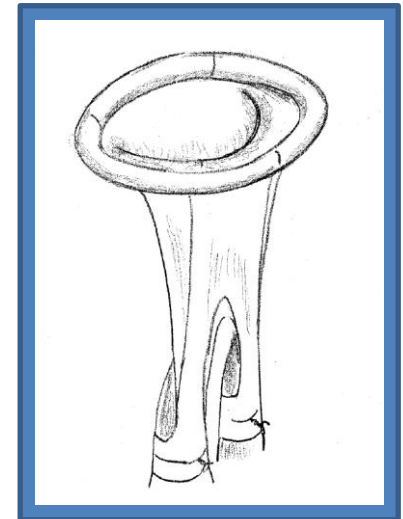
2. 特別なテンプレートに合わせ自己心膜を切離



4. 作成したNormo弁の接合状態確認



弁の変性による高度の逆流



SMVRにより逆流消失